

**「山梨の文化的テロワール（山梨らしさ）」整理・可視化業務委託
質問及び回答について**

No.	質 問	回 答
1	初期案の検証、業務の遂行に当たっては、初期案を作成したスタッフ、関わった有識者、地域関係者から全面的に協力いただける前提で宜しいでしょうか？	委託業務に関する初期案の作成に関わったスタッフや有識者相談対応や助言、初期案の記載内容に関する質問への回答は行います。
2	初期案の検証にある、「センターが実施するワークショップ」とは、これから開催する表現になっていますが、どのような規模で、何回（いつ頃）開催されるのでしょうか？	「仕様書 5 業務内容 (1) 初期案の検証 ウ) センターが実施するワークショップの結果分析」によるワークショップは、既に1回実施済みで、参加者数は約20名です。今後の開催については、現時点では未定です。
3	体系化・加筆修正にある、「知見を有する対象者に対するワークショップ」の「知見を有する対象者」とはどのような方を想定していますでしょうか？	「知見を有する対象者」とは、歴史的・文化的な知見を有する方（例：学識者、文化財主事など）、行政職員、農業関係者等を想定しています。
4	最終成果物の掲載内容に関する、事実関係の確認等は、県またはデザインセンターがご協力、校了いただけるということによいのでしょうか？	事実関係の確認や校了等は、受託者の責任において実施してください。
5	最終成果物（印刷物、データ）は納品後、誰に向かって、どこでどのように配布、公表されるのでしょうか？	最終成果物は、県やデザインセンターでのホームページで広く公開するほか、印刷物は図書館や博物館等での所蔵を現時点では想定しています。